



患者安全 Patient safety

安全でないケアから生じる患者危害は、世界の死亡及び障害の主な原因のひとつであり、増加しつつある公衆衛生上の課題である。推定で高所得国では 10 人に 1 人、低中所得国では 4 人に 1 人の患者が、治療中に有害事象の影響を受け、年間 260 万人が死亡している^{1,2}。危害（傷害又は死亡を含む）は、誤薬、保健医療関連感染、安全でない外科治療及び注射処置、患者誤認、照会システムの欠如、誤診、安全でない輸血処置、放射線過誤、敗血症及び血栓などの、安全でないケアにより生じる³。

危害ゼロを目標とするのが理想であるが、一部の危害は回避不可能である。幸い、患者安全インシデントは概して回避可能であり、回避又は予防可能な危害及びその性質に重点を置くことによって、より効果的な患者安全戦略を策定することができる。患者安全インシデントの主な原因には、保健医療専門職の行動、保健医療システムの問題、又は、個人、システムの問題、及び患者の特性によるエラーの組み合わせなどがある⁴。インシデントの多くは、保健医療提供者間の誤った伝達による検査ミス及び誤診など、臨床プロセスの設計又はオペレーションにより生じる。低中所得国における患者危害は、水道の欠如、医薬品の不適切な保管など、必要最小限の資源の欠如と関連している場合がある。患者安全インシデントは、病院内で発生するのと同様に、プライマリ・ケア又は外来診療においても発生する⁵。しかし研究によると、プライマリ・ケア及びメンタルヘルスケアにおける予防可能な危害のうち、特定の原因については気づかれないか、患者安全向上の対象となっていない場合がある⁴。

危害の負担は、保健医療システムのすべてのレベルにおいて、確立・整備された患者安全原則に基づき、患者安全戦略を開発し実施することにより軽減可能である。患者安全のコンセプトは、「一貫して持続的に、リスクを軽減し、回避可能な危害の発生を低減し、ミスを起こす可能性を低くし、発生したときの危害の影響を軽減する、保健医療における文化、プロセス、手続き、行動、技術及び環境を作り出す組織的活動の枠組み」として定義される³。2019 年の世界保健総会での「患者安全に関する世界的行動」に関する決議の採択を節目として、敬意に満ちた質の高いケアを提供する、効果的、効率的かつ人を中心に置いた保健医療システムを構築するための土台としての患者安全を優先する世界的な取り組みが始まった⁶。患者安全は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを実現するための不可欠な要素としても認識される。同時に、回避可能な危害をゼロにするために、保健医療システムを強化するための他のあらゆる基礎的要素に取り組まなければならない。これには、保健医療への投資拡大、緊急時への備えの強化、保健医療労働力の構築、デジタルヘルスの統合、及びリーダーシップとガバナンスの向上などがある。



国際看護師協会（ICN）の WHO 世界患者安全専門家作業部会への参加を通じて、安全な職員配置と保健医療労働力の安全が患者安全の優先分野となっている。保健医療従事者の安全と患者安全には、密接な繋がりがあある。看護師が経験する暴力と虐待、バーンアウト、ストレス、精神的損傷、身体的疾患、スティグマは、ケアの安全と質の低下に関連している^{7,8}。安全な労働環境の整備と、看護師や保健医療従事者のメンタルヘルスの保護は、患者危害の予防を含め、広範囲に及ぶ正のアウトカムをもたらし、質の高いケアを提供するために不可欠である⁹。2019 年の WHO「患者安全に関する世界的行動」でも、安全な保健医療を実現するために、支持的環境で勤務するコンピテンシーを備えた思いやりと熱意のある保健医療労働力を構築し維持することの重要性を認識している。ICN は、各国政府と地域の保健医療サービスリーダーに対し健康を守るための措置を講じるよう求める 2020 年憲章「保健医療従事者の安全：患者安全のための優先事項」に署名している。

研究では、患者安全及び質の高いケアの提供と正の患者アウトカムのために、安全な看護職員配置が不可欠な要素であることが引き続き明らかになっている¹⁰。最適な数の看護師を一連のケアを通して配置することは、命を救い、コストを削減し、システムのアウトカムを向上させる。多くのエビデンスから、看護職員配置が褥瘡、感染、栄養不良及び誤薬などの有害事象の低減に影響を及ぼすことが実証されている。

看護師は、患者危害予防に積極的に参加する。看護師の役割の重要な要素は、一連のケアを通して患者安全を推進しリスクを軽減することである。「ICN 看護師の倫理綱領」で支持されているとおり、「看護師は、保健医療の実践・サービス・場における人々と安全なケアに対する脅威を認識・対処し、安全な医療の文化を推進する」¹¹。看護ケアはあらゆる分野のケアに及ぶことから、看護師は、ニアミスの予測、危害の予防、並びに保健医療システム及び集団を通じて提供される保健医療の質の向上に適している。

責めない文化又は「ジャストカルチャー（訳注：正義・公正の文化）」、及び安全文化の発展は、患者安全の向上における重要な要素である。安全文化とは、個人及び組織による患者危害の最小化をサポートするための共通の信念と価値観に基づく、個人及び組織による行動の統合されたパターンである¹²。ジャストカルチャーの実現には、積極的かつ献身的なリーダーシップと保健医療労働力、及び人的資源とパフォーマンスの管理システムが必須である。情報の透明性、患者と家族による積極的関与、及び内省的実践などの倫理的看護実践及び専門的看護業務基準により支持される姿勢、信念、価値観及びスキルは、必然的にポジティブな安全文化に寄与する。看護師は保健医療労働力の大半を占めるため、安全文化を築きこれを守るためには、看護師による安全文化への取り組みとその変革エージェントとしての役割が必須である。雇用主はこれを支援するため、安全かつ時宜に即した形で問題を提起しその対応及び対処に取り組むための仕組みを整備しておかなければならない。



看護職は、協調的意思決定のための重要な代弁者であり、すべての患者安全戦略において完全なパートナーとなる必要がある。「患者安全に関する世界的行動 2021-2030」では、次の7つすべての目標に基づく戦略に大いに貢献することにより、保健医療において誰も危害を受けず、すべての患者がいつでもどこでも敬意に満ちた安全なケアを享受し、看護師が保健医療における回避可能なあらゆる危害の排除を支援する世界を想定している。⁵

1. 回避可能な患者危害をゼロにすることを念頭に置き、あらゆる場所における保健医療の計画及び提供への行動基準にする。
2. 日常的に患者を危害から守る、信頼性の高い保健医療システム（危険な状況においても非常に安全なオペレーションを維持する組織）及び保健医療組織を構築する。
3. すべての臨床プロセスの安全を確保する。
4. 患者及び家族がより安全な保健医療を追求できるよう積極的に関与し支援する。
5. 安全なケアシステムの設計及び実施に貢献できるよう、保健医療従事者を刺激し、教育し、スキルアップし、保護する。
6. リスクの最少化、回避可能な危害のレベルの低減、及びケアの安全性向上のための情報及び知識を常に提供する。
7. 患者安全及びケアの質を向上させるため、多部門及び多国間のシナジー、パートナーシップ及び連帯を強化・維持する。

ICN の所信及び勧告

看護の世界的な声として、ICN は：

- 政府に対し、患者危害の軽減及び患者安全の向上のために必須の行動として、特に低中所得国において、保健医療労働力への投資、雇用、開発、研修及び定着を大幅に強化することを要請する。
- 患者安全の向上のために、あらゆるレベルにおいて、支援を受け積極的に関与する看護リーダーシップが必須であることを確信する。
- 安全でないケアに繋がるリスクメカニズム、その調査方法、患者安全科学、及びリスクと危害を最



小限にするための行動の重要性について、看護師が理解することが必須であることを確信する。

- 政府に対し、患者及び集団のニーズを満たすための適切な保健医療従事者の供給を確保するため、十分な資金確保、法整備及び効果的な人的資源計画の策定による、ニーズに基づく安全な看護職員配置を実施し、その説明責任を果たすことを要請する。
- 組織が安全かつ質の高い倫理的ケアを確実に提供できるよう、役員レベルに看護師を置くべきであると主張する。
- 患者安全プログラム及び活動の設計及び計画において、看護管理者が中心となって関与しなければならないと主張する。
- 政府に対し、WHO「保健医療従事者の安全憲章」への署名、及びその主な対策に基づき迅速かつ持続可能な措置を講じることを要請する。
- 患者安全と保健医療労働力の安全が密接に関わっており、患者安全戦略及び方針に保健医療労働力の安全を統合・連携する必要があると確信する。
- 開かれた透明性の高い対応・学習システムによる責めない患者安全文化を強力に支援する。
- 患者及び家族が、関連する患者安全方針及び戦略の策定に積極的に関与すべきであると確信する。
- 各国看護師協会及び教育機関と協力し、患者安全に関するコンピテンシーに基づく教育を提供する。
- 相互尊重と共同意思決定に基づく安全な労働環境の醸成により、質と安全を向上させる専門職種間のチームワークを奨励する。

ICN は、各国看護師協会（NNAs）に各国政府と連携して以下を行うことを奨励する：

- 患者安全法の策定に協力し、これを確実に実施・維持する。
- 看護師が国内の患者安全向上優先事項を計画、策定及び実施する臨床リーダーシップグループの主要メンバーとなることを擁護する。
- すべての保健医療施設におけるインシデント報告システムの使用と、看護師が不利益や報復を恐れることなく患者安全を報告できるようにして安全文化を支援し推進する方針及びプロセスを擁護する。
- 学部及び大学院の看護教育カリキュラムの基準に、専門職種間チームに基づくアプローチでの患



者安全を取り入れる。

- 国内の患者安全組織と協力し、患者安全における相互学習及びベストプラクティスの共有のためのパートナーシップを推進する。
- プログラム及びサービスの設計・実施、監視・評価、方針・優先事項の設定及びガバナンスなど、患者及び家族による患者安全への関与及び強化を支援する。
- 回避可能な危害の原因に関する情報及び知識を提供し、プロセスを向上させる患者安全監視システムの設置、相乗作用の付与、規模拡大への看護師の参加を支援する。これには、インシデント報告システムによって最前線の看護師及びリーダーにインシデント及びニアミスから学習する機会が提供されることが含まれる。
- 患者安全コアコンピテンシーを看護規制基準に取り入れる。
- 機能的な学際的チーム、専門職間の学習への投資、チームに基づくケアを支援するガバナンス及び財源モデルを推進する国の政策を擁護する。
- 患者安全の向上のために、WHO「看護と助産のグローバル戦略の方向性」の優先的な政策を活用する。
- 毎年 9 月 17 日を「世界患者安全の日」とし、人々の健康及び保健医療システムにおける患者安全の重要性について人々の認識を向上させ、患者安全の確保における看護師の役割に焦点を当てる。

ICN は、臨床家、教育者、研究者、政策に影響を与える者又は幹部としての役割を持つ個々の看護師に対して、以下を要請する：

- 患者安全文化を確立し、維持し、継続的に向上させ、日常的実践における患者安全原則の実施に貢献する。
- 個人、家族及びコミュニティが患者安全に関与できるよう支援する。
- 看護師リーダーとして、看護師に対し、患者安全についての強力かつ熱心なリーダーとなり患者安全に関わる保健医療システムの再設計に協力するためのスキルを提供し、その習得を支援する。
- 個人、家族、コミュニティ及び集団の健康が、同僚、その他の人、方針、実践又は技術の誤用により脅かされたときに、彼らを守るための適切な措置を講じる。
- 患者安全インシデントを計画・予測・監視し、緊急の臨床的、感情的、情動的ニーズを満たすために共感と思いやりをもって適時に対応し、必要に応じてフォローアップを提供し、事故又はニアミスが生じたときには倫理的行動を推進し、ジャストカルチャーを確実にする。



- 透明性・機密性があり、ユーザーフレンドリーかつ効果的で、インシデント調査、教訓及び改善活動を優先する患者安全インシデント報告及び学習システムの確立、強化及び使用を擁護し、これに参加する。
- 患者安全に関する研究及び品質向上イニシアティブに貢献し、個人、家族及びコミュニティが確実に積極的パートナーになるようにする。
- 現職者向けの患者安全教育の機会を創出・支援し、これに参加する。

2002 年採択

2012 年、2023 年見直し・改訂



參考資料

- 1 Slawomirski L, Auraaen A, Klazinga N. The economics of patient safety: strengthening a value-based approach to reducing patient harm at national level. OECD Health Working Papers No. 96 [Internet]. Paris: Organisation for Economic Co-operation and Development; 2017 [cited 2023 Jun 1]. Available from: <https://doi.org/10.1787/5a9858cd-en>
- 2 National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine; Health and Medicine Division; Board on Health Care Services; Board on Global Health; Committee on Improving the Quality of Health Care Globally. Crossing the global quality chasm: improving health care worldwide [Internet]. Washington (DC): National Academies Press; 2018 [cited 2023 Jun 1]. Available from: <https://doi.org/10.17226/25152>.
- 3 World Health Organization. Fact Sheet: patient safety [Internet]. Geneva: World Health Organization; 2019 Sep 13 [cited 2023 Jun 1]. Available from: <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/patient-safety> .
- 4 Panagioti M, Khan K, Keers R N, Abuzour A, Phipps D, Kontopantelis E et al. Prevalence, severity, and nature of preventable patient harm across medical care settings: systematic review and meta- analysis. BMJ [Internet]. 2019 [cited 2023 Jun 1]; 366:l4185. Available from: [doi:10.1136/bmj.l4185](https://doi.org/10.1136/bmj.l4185)
- 5 World Health Organization. Global patient safety action plan 2021-2030: Towards eliminating avoidable harm in health care [Internet]. Geneva: World Health Organization; 2021 [cited 2023 Jun 1]. Available from: <https://www.who.int/publications/i/item/9789240032705>
- 6 World Health Organization. Resolution WHA72.6: Global action on patient safety [Internet]. Geneva: World Health Organization; 2019 May 28 [cited 2023 Jun 1]. Available from: https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA72/A72_R6-en.pdf
- 7 International Council of Nurses. ICN Position Statement: Prevention and management of workplace violence [Internet]. Geneva: International Council of Nurses; 2017 [cited 2023 Jun 1]. Available from: https://www.icn.ch/sites/default/files/inline-files/PS_C_Prevention_mgmt_workplace_violence_0.pdf
- 8 World Health Organization. Charter: Health worker safety: A priority for patient safety [Internet]. Geneva: World Health Organization; 2020 Sep 17 [cited 2023 Jun 1]. Available from: https://www.who.int/docs/default-source/world-patient-safety-day/health-worker-safety-charter-wpsd-17-september-2020-3-1.pdf?sfvrsn=2cb6752d_2
- 9 International Council of Nurses. ICN Position Statement: Occupational health and safety [Internet]. Geneva: International Council of Nurses; 2017 [cited 2023 Jun 1]. Available from: https://www.icn.ch/sites/default/files/inline-files/PS_C_Occupational_health_safety_0.pdf



10 International Council of Nurses. Position Statement: Evidence based nurse staffing [Internet]. Geneva: International Council of Nurses; 2018 [cited 2023 Jun 1]. Available from: https://www.icn.ch/sites/default/files/inline-files/PS_C_%20Evidence%20based%20safe%20nurse%20staffing_1.pdf

11 International Council of Nurses. Code of ethics for nurses [Internet]. Geneva: International Council of Nurses; 2021 [cited 2022 Oct 18]. Available from: https://www.icn.ch/system/files/2021-10/ICN_Code-of-Ethics_EN_Web_0.pdf

12 Canadian Patient Safety Institute. The Safety Competencies: Enhancing Patient Safety Across the Health Professions. 2nd Edition [Internet]. Edmonton, Alberta; 2020 March [cited 2023 Jun 1]. Available from: https://www.patientsafetyinstitute.ca/en/toolsResources/safetyCompetencies/Documents/CPSI-SafetyCompetencies_EN_Digital.pdf

(公・社) 日本看護協会 2023 年